

問題

1. 介護支援サービス分野

問題1 日本の社会保険制度について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 年金，医療，労働災害，介護の4つに分類されている。
- 2 財源は，保険料と利用者負担分によって構成されている。
- 3 保険給付の期間と保険財務の形態によって，短期保険と長期保険に区分される。
- 4 私保険と比べて，営利性をもたず，所得が少なくても排除されにくい保険である。
- 5 高額所得者は，加入を制限されることがある。

問題2 介護保険制度における市町村の役割について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 第2号被保険者の保険料を設定する。
- 2 第1号被保険者の保険料の納入状況を把握する。
- 3 必要があれば，事業者及び施設に対し，保険給付に関する質問または照会を行う。
- 4 介護保険事業計画を3年ごとに策定する。
- 5 特定福祉用具販売事業者を指定する。

問題3 介護保険財政について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 国は，市町村間の後期高齢者比率や所得水準の格差による財政力の差を調整するために，調整交付金を交付する。
- 2 市町村は，介護給付費の25%を負担する。
- 3 市町村は，介護保険特別会計に不足が生じた場合には，財政安定化基金から貸付を受けることができる。
- 4 保険料財源における第1号被保険者と第2号被保険者の負担割合は，それぞれの被保険者数の割合に応じて定められる。
- 5 市町村特別給付に要する費用は，その半分が公費で，残りの半分は保険料財源で賄われる。

問題4 介護保険の被保険者について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 第2号被保険者は，市町村の区域内に住所を有する40歳以上65歳未満の医療保険加入者である。
- 2 生活保護受給者は，保険料を負担せずに被保険者となる。
- 3 第2号被保険者で，重症心身障害児施設に入所している者は，当分の間，被保険者とならない。
- 4 第1号被保険者の被保険者証は，交付請求の有無にかかわらず，すべての被保険者に交付される。
- 5 介護保険施設に入所することにより，当該施設所在地に住所を変更した者は，当該施設の所在する市町村の被保険者となる。

問題5 介護保険と他制度の関係について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 65歳以上の要介護者は、障害者であっても、障害者施策を利用できない。
- 2 生活保護受給者である被保険者には、支給限度基準額の範囲内で利用した介護サービスの利用者負担分について、生活扶助が支給される。
- 3 介護老人福祉施設以外の老人福祉施設に入所している者には、介護保険による給付は行われない。
- 4 労働者災害補償保険法の規定による給付で、介護保険による給付に相当するものを受けることができる者には、労働者災害補償保険法による給付が優先される。
- 5 刑務所に拘禁されている者には介護保険法による給付は行われない。

問題6 介護保険法における居宅サービスについて正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 居宅療養管理指導では、病院、診療所または薬局の医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士等が療養上の管理及び指導を行う。
- 2 訪問入浴介護では、利用者の居宅を訪問し、その居宅の浴槽を利用して入浴の介護を行う。
- 3 訪問リハビリテーションでは、理学療法士、作業療法士等が療養上の世話または必要な診療の補助を行う。
- 4 通所介護では、利用者をデイサービスセンター等に通わせ、日常生活上の世話や機能訓練を行う。
- 5 認知症対応型共同生活介護では、認知症の状態にある者について、共同生活住居で入浴、排泄の介護等の日常生活上の世話や機能訓練を行う。

問題7 利用者負担について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 介護保険施設における食事に係る費用はすべて利用者の負担となる。
- 2 居宅介護サービス計画費は、その1割が利用者の負担となる。
- 3 利用者負担が著しく高額となった場合には、負担金が一定額を上回らないように高額介護サービス費が支給される。
- 4 事業者は、利用者確保のために、利用者負担を請求しないことができる。
- 5 生計を主として維持する者が心身に重大な障害を受けたことにより、その者の収入が著しく減少し、利用者負担の支払いが困難と認められる者については、減免が行われることがある。

問題8 介護報酬について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 全国一律に、1単位の単価は10円である。
- 2 算定の基準は、厚生労働大臣が社会保障審議会の意見を聞いて定める。
- 3 介護報酬は、最も費用のかかっている事業所の経営を勘案して設定される。
- 4 施設の介護報酬には、おむつ代が含まれる。
- 5 訪問介護の介護報酬は、特別地域訪問介護加算が算定される場合には、15%増となる。

問題9 支給限度基準額について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 施設サービスについては、設定されていない。
- 2 居宅サービス事業者は、支給限度基準額を超えてサービスを提供することができない。
- 3 未利用分については、現金給付を受けることができる。
- 4 利用者の所得状況に応じて異なる。
- 5 居宅サービスの標準的な利用の例を踏まえて、設定されている。

問題10 主治の医師等が必要と認める場合に限り利用され、かつ支給限度基準額に基づく管理を行うサービスはどれか。2つ選べ。

- 1 訪問介護
- 2 居宅療養管理指導
- 3 通所介護
- 4 通所リハビリテーション
- 5 短期入所療養介護

問題11 居宅サービス事業者の指定について正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 提供する居宅サービスの種類ごと、事業所ごとに指定を受けることが必要である。
- 2 都道府県知事は、申請者が法人でない場合でも、市町村の意見を求めた上で、指定をすることができる。
- 3 保険医療機関である病院は、通所リハビリテーションについて都道府県知事の指定があったものとみなされる。
- 4 事業者は、指定を受けた都道府県以外の地域に住む者に対しても、サービスを提供することができる。
- 5 介護報酬の支払を行う市町村は、請求に不正があった場合には、指定を取消すことができる。

問題12 居宅サービス事業者がサービスの提供を拒否できる場合として正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 事業者の従業者の人数から、利用申し込みに応じきれない場合。
- 2 利用申込者の居住地が、その事業所の実施地域外である場合。
- 3 利用申込者の要介護度が重く、介護に相当の手間がかかる場合。
- 4 利用申込者の所得が低く、利用者負担の支払いが困難と思われる場合。
- 5 利用者の要介護度が軽く、利用頻度が低いと思われる場合。

問題13 居宅サービス事業者の事業運営について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 居宅サービスの提供を開始する際に、利用申込者または家族に対して、従業者の体制その他の重要事項について、口頭または文書で説明し、同意を得なければならない。
- 2 事業者は、従業者が辞めた後も、正当な理由がなく、業務上知り得た利用者または家族の秘密を漏らさないよう、雇用時に取り決めをするなど必要な措置を講じなければならない。
- 3 利用者に対する居宅サービスの提供に関する諸記録は、その完結の日から2年間保存しなければならない。
- 4 訪問介護事業者については、名称、電話番号、所在地以外の広告は禁止されている。
- 5 利用者を確保するため、居宅介護支援事業者またはその従業者に金品等の利益を与えてはならない。

問題14 介護保険施設について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 介護老人保健施設は、身体上または精神上著しい障害があるために常時の介護を必要とし、居宅で介護を受けることが困難な者に対してサービスを提供する。
- 2 常勤の医師がいる介護老人保健施設については、協力病院を定める必要はない。
- 3 介護療養型医療施設においても、本人や他の患者等の生命、身体を保護するために緊急やむをえない場合を除き、身体的拘束を行ってはならない。
- 4 個々の入所者または入院患者ごとに、サービスの内容等を定めた施設サービス計画を作成しなければならない。
- 5 入所者または入院患者の施設サービスに関する苦情に対応するためには、苦情を受け付ける窓口の設置等を行わなければならない。

問題15 要介護認定について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 要介護状態とは、1年間にわたり継続して、常時介護を要すると見込まれる状態をいう。
- 2 要介護認定は、介護の必要の程度を判断するものであり、要介護度と病気の重さとは必ずしも一致しない。
- 3 一次判定は、基本調査、特記事項及び主治医意見書に基づき行われる。
- 4 要介護更新認定の有効期間は、2年までの延長が可能である。
- 5 要介護認定に不服がある場合には、介護保険審査会に審査請求をすることができる。

問題16 要介護認定の申請について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 要介護認定の申請を代行することができるのは、居宅介護支援事業者に限られている。
- 2 要介護認定の効力は、申請のあった日にさかのぼる。
- 3 要介護認定の申請を受けた市町村は、原則として30日以内に、認定結果を通知しなければならない。
- 4 要介護認定の有効期間内は、要介護状態区分の変更を申請することはできない。
- 5 要支援認定の更新を申請した者が、認定審査会で要介護者に該当するとされた場合には、あらためて要介護認定を申請しなければならない。

問題17 要介護認定における認定調査について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 認定調査における基本調査項目は、地域特性に応じて、市町村が独自に付け加えることができる。
- 2 認定調査は、介護支援専門員が行わなければならない。
- 3 認定調査の委託業務に従事する者は、罰則の適用について公務員とみなされる。
- 4 認定審査会は、認定調査を行った調査員に出席を求め意見を聞くことができる。
- 5 要介護状態の原因である障害が特定疾病によって生じたものであるかどうかは、認定調査員が判定する。

問題18 要介護認定における市長村の役割について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 市町村は、更新認定の認定調査を介護療養型医療施設に委託することができる。
- 2 市町村は、緊急やむをえない場合には、認定審査会及び判定を経ることなく、要介護認定をすることができる。
- 3 市町村は、認定申請を行った被保険者が認定調査に応じない場合には、申請を却下することができる。
- 4 市町村は、認定申請を行った被保険者が身体障害者手帳を所持している場合には、認定審査会の審査及び判定を経ることなく、その等級を参考として要介護認定をすることができる。
- 5 市町村は、他の市町村で要介護認定を受けている者が被保険者となり、所要の申請を行った場合には、認定審査会の審査及び判定を経ることなく、要介護認定をすることができる。

問題19 居宅介護支援について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 介護支援専門員は、居宅サービス計画の作成にあたり、利用者が抱える問題点及び解決すべき課題の把握のため十分な情報をあらかじめもっている場合には、利用者の居宅を訪問し、利用者及びその家族に対して面接を行う必要はない。
- 2 居宅サービス計画は利用者の希望を基礎として作成されるものであるが、専門的見地から必要とされるサービスを計画的に位置付ける場合には、利用者の同意を得なくてもよい。
- 3 居宅介護支援事業者は、利用者が他の居宅介護支援事業者を利用することになった場合には、利用者からの申し出があれば、直近の居宅サービス計画、その実施状況に関する書類を、利用者に対して交付しなければならない。
- 4 介護支援専門員は、居宅サービス計画の作成にあたり、特定の事業者を利用するよう利用者に指示してはならないが、利用者が事業者を選択するために必要な情報を提供することはできる。
- 5 居宅サービス計画には、利用者の日常生活全般を支援する観点から、介護保険の給付対象となるサービス以外にも、地域における保健医療サービス、福祉サービスを位置付けることができる。

問題20 居宅サービス計画の作成に関して正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 居宅サービス計画は、利用者の自立や生活の向上につながるものでなければならない。
- 2 居宅サービス計画は、訪問看護計画等の個別のサービス計画に基づき作成される。
- 3 居宅サービス計画の原案は、サービス担当者会議が作成する。
- 4 居宅サービス計画に記載が求められるのは、サービスの種類、内容、提供時間帯、利用料に限られている。
- 5 居宅サービス計画の変更は、利用者からの申出がなくても、本人や家族の状況等が変化した際には検討される。

問題21 介護支援サービスについて適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 利用者と家族の意向が対立する場合には、介護支援専門員がサービスの種類や内容を決める。
- 2 サービスの種類や内容を決める際には、介護費用を負担する家族の意向が最も重要である。
- 3 利用者だけでなく、介護に関わる家族全体を援助の対象としてとらえる。
- 4 家族の健康状態や休養にも配慮することが、利用者の在宅生活の継続につながる。
- 5 近隣や地域の人々の協力の可能性を探ることも大切である。

問題22 Aさんは「褥瘡の予防」をニーズとしているが、これを導き出した課題分析の内容として重要なものはどれか。3つ選べ。

- 1 失禁があり、おむつを使用している。
- 2 食欲がなく、食事量が少ない。
- 3 年金収入で生活している。
- 4 集合住宅の5階に住んでいる。
- 5 入浴を嫌がっている。

問題23 要介護認定を申請中のAさんへの介護支援専門員の対応として適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 居宅介護支援事業者を選択できる旨説明するとともに、自らの提供する居宅介護支援の方針等について理解してもらった。
- 2 居宅介護支援を利用しないときには、どんな場合でも居宅サービスの利用に係る保険給付はすべて償還払いになる旨、説明した。
- 3 居宅介護支援を利用するためには、居宅介護支援事業者への利用申し込みとともに、その旨を市役所へ届け出る必要があることを説明した。
- 4 要介護状態にあることが明らかであり、介護者の状況が切迫していると思われたので、暫定的に居宅サービス計画を作成し居宅サービスの利用ができる旨、説明した。
- 5 要介護認定の結果は、介護支援専門員に通知されるので、結果が判明したら連絡する旨、説明した。

問題24 ひとり暮らしのAさんは、独立して立位や座位を保つことができるが、片足に軽度の麻痺があるため、自室の浴室で入浴することに不安をもっている。居宅サービス計画作成に際し、介護支援専門員の対応としてより適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 訪問介護による入浴介助の利用を提案した。
- 2 介護支援専門員の判断で、訪問看護による入浴介助を居宅サービス計画に位置付けた。
- 3 浴室内の手すり設置やシャワーチェアの導入を提案した。
- 4 訪問入浴介護の利用を提案した。
- 5 入浴をサービス内容に含めた通所介護の利用を提案した。

問題25 Aさんから「貯えもなくなり、自己負担分の支払いが大変なので、サービスを減らしたい」と相談を受けた。介護支援専門員の対応として適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 訪問介護事業者に交渉し、「身体介護」となっているサービスを、単価の安い「生活援助」として請求してくれるよう頼んだ。
- 2 遠方に住む息子の生活状況や音信を、Aさんに尋ねた。
- 3 とりあえず近隣の人からの借入を勧めた。
- 4 生活維持がむずかしいと思われたので、市役所に電話で相談してみることを勧めた。
- 5 利用しているサービスを見直し、ボランティア等によるサービスで代替できないかを検討した。

2. 保健医療サービス分野基礎

問題26 高齢者の身体的・精神的特徴として適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 肺の残気量は、加齢とともに低下する。
- 2 聴力の低下は、低音域において顕著である。
- 3 短期記憶は、長期記憶に対し衰えが目立つ。
- 4 骨塩濃度（骨密度）は、低下の傾向を示す。
- 5 抑うつ症状は、若年者に比べ多くみられる。

問題27 適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 安静時振戦は、パーキンソン病の主要な症状である。
- 2 慢性膵炎は、腹痛、背部痛、食欲不振その他の消化器症状を訴えるが、不定愁訴にとどまるものもある。
- 3 肺気腫は、慢性閉塞性肺疾患に含まれない。
- 4 糖尿病の合併症として、網膜症、腎症、神経障害がある。
- 5 関節リウマチは、関節に限って変化症状が認められる。

問題28 食事の介護について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 歯や口腔の疾患は、食欲不振と関連しない。
- 2 かまぼこ等の練り製品は、嚥下困難を引き起こしにくい。
- 3 利き手が麻痺側の場合、必要があれば利き手の変換を試みる。
- 4 下痢になったときは、体力の消耗を補うため、高脂肪食を提供する。
- 5 偏食の有無等を知るためにも、食べ残しの内容や量を確認する。

問題29 適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 介護保険でのリハビリテーションは、機能の回復を目的とした治療的なプログラムを中心に行われる。
- 2 要介護度が重い場合には、廃用症候群の予防のため、座位の保持と離床を基本に置いたリハビリテーションを検討する。
- 3 介護保険でのリハビリテーションは、関節可動域の改善、拘縮の軽減を主な目的として実施され、社会参加の促進や自立生活の支援は他のサービスにより行われる。
- 4 高齢者に対するリハビリテーションでは、誤用症候群の危険性があるので、筋肉増強のための運動は実施してはならない。
- 5 良肢位（関節が仮にその位置で動かなくなっても日常生活動作に及ぼす障害が最も少ない肢位）を保っても、同じ姿勢を長時間続けると、拘縮やじょくそうにつながる。

問題30 適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 医学的診断ではなるべく多くの種類のスクーリング検査を行った後に、問題点を見つけ出す。
- 2 薬物療法において、いわゆる常用量とは、95%以上の人に対する有効量である。
- 3 高齢者は手術によるストレスを契機に、認知症が進行することがある。
- 4 治療には、病気の原因を取り除く原因療法と病気の症状を和らげる対症療法がある。
- 5 疾病や障害の結果そのものを、予後という。

問題31 適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 脳卒中の再発率は、比較的低い。
- 2 高齢者の肺炎は、所見がはっきりしないことがあり、見逃されて重度化しやすい。
- 3 高齢者の体内の水分量は、若年者より多い。
- 4 一般的に、高齢者の身体構成成分としての脂肪の割合は、若年者より多い。
- 5 二次的機能障害とは、疾患の直接的な結果として起こった生体機能の障害をいう。

問題32 適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 高齢者に多い呼吸器感染症として、肺炎、気管支炎、膿胸、肺結核があげられる。
- 2 急性胆嚢炎は、胆石や胆道系悪性腫瘍を伴うことは少ない。
- 3 敗血症の確定診断には、血液培養が必要である。
- 4 疥癬は、感染するが、集団感染を起こすことはない。
- 5 施設内感染防止のために、タオルの使い回しはしない。

問題33 適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 在宅酸素療法を行っているときは、酸素中毒、低酸素症、二酸化炭素中毒、上気道感染等の合併症に注意する。
- 2 呼吸管理が緊急に必要なときは、経口の気管内挿管より経鼻的気管内挿管の方が簡便である。
- 3 人工呼吸器にトラブルが生じたときは、まず業者に連絡する。
- 4 嚥下障害や意識障害のある患者には、内視鏡的胃瘻造設術の適応が考えられる。
- 5 完全房室ブロックや洞不全症候群の場合には、ペースメーカー移植術の適応が考えられる。

問題34 適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 「一次予防」とは、病気を早期に発見し、早期に治療することをいう。
- 2 悪性新生物は、日本の近年における死亡原因の第1位である。
- 3 高脂血症や高血圧症は、循環器疾患の危険因子である。
- 4 糖尿病は、脳梗塞より脳出血を起こすことが多い。
- 5 「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」は、生活習慣病の治療に重点を置いている。

問題35 Aさんは、夫と二人暮らしである。最近、一人で外出しては警察に保護されるようになり、アルツハイマー病と診断された。夫への助言内容として適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 徘徊感知機を設置する。
- 2 居室から外に出られないように鍵をかける。
- 3 外出した場合には、すぐに連れ戻さず、本人が落ち着くまで付き添うことも必要である。
- 4 本人に対して、家から外に出ないように、根気よく説得する。
- 5 訪問介護や通所介護を利用する。

問題36 脳梗塞を発症して入院後、胃瘻を造設して退院した要介護者への対応について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 胃瘻からの栄養剤注入は、医師が行わなければならない。
- 2 胃チューブが抜けた場合には、速やかに医師へ連絡する。
- 3 口から食べることができないので、口腔ケアは必要ない。
- 4 胃ろう造設部の皮膚は、清潔に保ち、注意深く観察する。
- 5 口から食べることができるように、嚥下訓練を試みる場合もある。

問題37 排尿困難のため、膀胱留置カテーテルを挿入している高齢者への訪問看護について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 カテーテルの交換を家族ができるように指導する。
- 2 尿の性状や量を観察する。
- 3 カテーテルの抜去を防ぐため、入浴は避ける。
- 4 発熱や血尿などの異常があるときは、速やかに医師へ連絡する。
- 5 尿路感染予防のため、カテーテルは清潔に保つ。

問題38 通所リハビリテーションについて適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 個別リハビリテーションではなく、集団リハビリテーションを行う。
- 2 サービスの提供にあたっては、医師の指示に基づき、利用者の日常生活の自立に資するよう行う。
- 3 機能訓練を中心とするサービスであり、認知症高齢者の利用は想定されていない。
- 4 送迎や入浴サービス、食事の提供を行うことができる。
- 5 離島等では、医師がいなくても、基準該当サービスとして提供できる。

問題39 介護老人保健施設について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 自立支援、病気の治療、家庭復帰、地域・家庭との結びつきが運営の基本方針となっている。
- 2 入所者が居宅において日常生活を営むことができるかどうかについて、定期的に検討し、その経過と結果を記録しておくことが重要である。
- 3 医学的管理を目的とした医療行為に関する費用は、施設介護サービス費に一括して含まれている。
- 4 入所者の生活の向上のために、談話室、食堂、レクリエーションルーム等を置くこととされている。
- 5 老人保健福祉圏域ごとに1か所ずつ設置されることとなっている。

問題40 介護療養型医療施設について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 療養病床を有する診療所は、介護保険の指定を受けることができない。
- 2 施設サービス計画の原案については、入院患者に説明し、同意を得なければならない。
- 3 認知症高齢者については、予防的な対応が求められるため、要支援者であっても入院できる。
- 4 特別室料を、入院患者に請求することはできない。
- 5 退院時に患者や家族、関係先に療養上の指導を行った場合には、介護報酬の加算が算定できる。

3. 保健医療サービス分野総合

問題41 バイタルサインに関連して適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 触診法による血圧測定では、最低血圧（拡張期血圧）が測定される。
- 2 直腸検温法は、側臥位の状態で行う。
- 3 脳出血では、徐脈を生じることがある。
- 4 心拍数と脈拍数は、常に一致する。
- 5 下顎呼吸は、生命予後がわるいことを示す。

問題42 加齢に伴う検査値の変化について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 血清カルシウムは低下する。
- 2 クレアチニンクリアランスは上昇する。
- 3 血清アルブミンは低下する。
- 4 赤血球数は低下する。
- 5 呼吸器機能検査における1秒率は上昇する。

問題43 適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 肺の弾性は、加齢に伴い増大する。
- 2 物を誤って飲み込み気道に詰まらせた場合には、まず排出しやすい体位にし、背部をたたくなどの刺激を与えて排出を図る。
- 3 慢性呼吸不全の患者における在宅酸素療法の適応には、動脈血酸素分圧または動脈血酸素飽和度の測定が必要である。
- 4 肺気腫では、労作時呼吸困難はみられない。
- 5 気管支喘息では、喘鳴を伴う発作性の呼吸困難を繰り返し生じる。

問題44 介護保険の給付の対象となる訪問看護はどれか。2つ選べ。

- 1 62歳。脳血管疾患。右片麻痺で、リハビリテーションを中心とした訪問看護を利用している。
- 2 68歳。末期の悪性腫瘍。在宅療養を望み、疼痛管理を中心とした訪問看護を利用している。
- 3 83歳。認知症対応型共同生活介護を利用中。3日ほど前から経口摂取が減少し、活気がなくなってきたため、医師の診察を受け、訪問看護の利用を勧められた。
- 4 70歳。慢性気管支炎。定期的に訪問看護を利用し、在宅酸素療法を受けている。
- 5 42歳。うつ病。精神状態がやや不安定で日常生活に支障があり、訪問看護を利用している。

問題45 居宅療養管理指導について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 医師による居宅療養管理指導は、医学的管理に基づき行われるので、介護支援専門員への情報提供は行わなくてよい。
- 2 医学的管理サービスを提供する場合には、利用者や家族から、食事、睡眠、排せつ、表情の変化等についての情報を得ることが重要である。
- 3 薬剤管理指導には、医師の処方に基づく薬の調剤が含まれる。
- 4 薬剤管理指導では、医療用医薬品だけでなく、一般医薬品の使用についても把握する必要がある。
- 5 顔面及び口腔内の知覚麻痺がある場合は、食物が停滞し、う蝕、歯周病が進行するので、歯科衛生指導の必要性を検討する。

4. 福祉サービス分野

問題46 利用者の情報の取扱いについて、介護支援専門員の行動として適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 Aさんのサービス担当者会議を、急に開くことになったので、Aさんには了解を得ていなかったが、会議でAさんの居宅介護台帳を回覧した。
- 2 訪問介護事業所から、「全額自費負担による訪問介護を勧めたいので、Bさんの長男の年収を教えてください」と依頼された。介護サービス事業者への情報提供についてBさんから文書で包括的な同意を得ていたので、情報提供した。
- 3 Cさん宅を訪問した際、同居の介護者からの虐待が疑われた。とりあえず市役所に相談に行った。
- 4 Dさんは、「調査のとき、歩けないことにして認定を受けた」と言っていたが、実際には、通常の歩行が可能である。理由を尋ねたところ不正の意思が明確であったため、市役所に連絡した。
- 5 Eさんの家族は、「隣人Fさんとはうまくいっていない。家の中のことを詮索したがつている」と言っていた。帰りがけに隣家の前でFさんから声をかけられたので、状況を理解してもらうために、Eさんの様子を詳しく説明した。

問題47 ソーシャルワーカーの活動として適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 利用者から寄せられた福祉サービスへの苦情を一覧表にまとめる際、利用者名を記して作成し、関係先に配布した。
- 2 現状の福祉サービスだけでは解決できない悩みをもつ複数の利用者に参加を呼びかけて、ともに行政に実状を説明に行った。
- 3 地域の高齢者対象の行事におけるボランティア活動への参加を呼びかけたが、営業活動をされると困るので、商店街の人の参加は断った。
- 4 地域におけるネットワーク作りのための会合をもつ際、競合関係にあるサービス提供者を除外して呼びかけた。
- 5 地域の福祉計画を作るのに先立って、人口、障害者数、福祉サービス利用者数等の基礎的な統計数字をまとめた。

問題48 面接時におけるソーシャルワーカーのとるべき姿勢について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 事前に情報を知り、一定の予測をもつことは、利用者への偏見につながるので、行わないほうがよい。
- 2 主訴の把握にあたっては、提供できるサービスの利用につながる事柄に集中する必要がある。
- 3 利用者には、自らの所属する機関の機能や役割、できることとできないことを理解してもらう必要がある。
- 4 利用者や家族の問題だけでなく、その人たちのもっている力を理解することが大切である。
- 5 面接の一定段階で、問題の焦点が見えてくるに伴い、新たな情報の提供や助言、提案等の積極的な働きかけを行うことがある。

問題49 ソーシャルグループワークについて適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 通所介護や障害者デイサービスのほか、教育・治療プログラムでも用いられることがある。
- 2 グループメンバー相互の関係のダイナミックな動きを常に意識して、その集団関係のもつ動きを活用する方法である。
- 3 グループメンバーの個々の欲求を抑制し、プログラムに盛り込まれた、成果物の完成等の目標達成を優先することが必要である。
- 4 グループワーカーは、常に集団をコントロールできるよう、リーダー的役割を維持することが必要である。
- 5 ボランティアの参加を求める機会も多く、地域との関係を重視することが必要である。

問題50 地域福祉権利擁護事業の利用として適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 心身ともに健康であるが、1人暮らしで資産がある高齢者の財産管理を支援する。
- 2 1人暮らしで、軽度の認知症がある高齢者の介護サービス費の利用者負担分の支払いを支援する。
- 3 同居の息子夫婦との関係が悪く、軽度の認知症がある高齢者の居宅介護支援事業者の選定を支援する。
- 4 1人暮らしで軽度の認知症がある高齢者の遺言作成を支援する。
- 5 左片麻痺のため、日常生活動作に支障がある高齢者の要介護認定の申請を代行する。

問題51 訪問介護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 居宅サービス計画について利用者の同意を得ていれば、その居宅サービス計画に位置付けられた訪問介護の提供について、訪問介護事業者は、あらためて利用者の同意を得る必要はない。
- 2 既に居宅サービス計画が作成されている場合には、その内容に沿った訪問介護を提供するのであれば、訪問介護計画を作成しなくてもよい。
- 3 サービス提供責任者の管理と指導の下で行われるものであっても、介護福祉士でも訪問介護員でもない者が訪問介護を行った場合には、保険給付の対象とならない。
- 4 サービス提供責任者は、訪問介護計画を変更する場合には、利用者またはその家族に説明しなければならない。
- 5 訪問介護事業所の管理者は、介護福祉士または訪問介護員でなければならない。

問題52 介護支援専門員が訪問介護を居宅サービス計画に位置付ける際の考え方について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 外出が困難になった利用者から、今まで通り近所へ買い物に行きたいとの希望があったので、外出時の車椅子での介助を訪問介護で行うことにした。
- 2 まれに失禁がみられたが、利用者の希望もあり、おむつを使用するのではなく、排せつの周期を把握した上で、それに合わせた排せつの介助を訪問介護で行うことにした。
- 3 利用者が今まで日課としていた息子の部屋の掃除を、利用者に代わって訪問介護で行うことにした。
- 4 寝たきり状態でじょくそうがあったため、医師の指示の下、その処置を訪問介護で行うことにした。
- 5 歩行に支障がみられたので、移動の介助を訪問介護で行うとともに、歩行補助つえの福祉用具貸与を組み合わせることで、利用者ができるだけ自立して移動できるよう配慮した。

問題53 訪問入浴介護について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 利用者の家屋の構造、周囲の道路事情等を考慮しなければならない。
- 2 入浴中に病状が急変した場合には、速やかに利用者を担当する介護支援専門員へ連絡をとり、その指示を受けなければならない。
- 3 微温浴では血圧の上昇がみられるため、入浴後の水分摂取はなるべく控えた方がよい。
- 4 利用者の身体の状態が安定している場合には、主治の医師の意見を確認した上であれば、看護職員の代わりに介護職員のみで行うことができる。
- 5 入浴は、身体の清潔の保持が目的なので、衛生状態が良好に保たれている場合には、なるべく回数を減らす方がよい。

問題54 短期入所生活介護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 同居する家族の疾病、冠婚葬祭、出張等の場合に利用されるものであり、単身で生活する高齢者は利用できない。
- 2 第2号被保険者は利用することができない。
- 3 施設を利用するサービスなので、居宅サービス費の支給限度基準額には含まれない。
- 4 短期入所生活介護計画は、おおむね4日以上にわたり継続して入所が予定される利用者について、作成されなければならない。
- 5 緊急に利用する場合であっても、事業者は重要事項を記した文書を交付し、その説明を行い、利用申込者の同意を得なければならない。

問題55 認知症対応型共同生活介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 要支援者は利用できない。
- 2 認知症対応型共同生活介護計画の作成にあたっては、他の福祉サービスを盛り込んではいけない。
- 3 事業者は常に利用者の家族との交流の機会を確保するよう努めなければならない。
- 4 事業者は、利用者の趣味または嗜好に応じた活動の支援に努めなければならない。
- 5 離島等では、法人格がなくても、基準該当サービスとして提供できる。

問題56 特定施設入居者生活介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 指定を受けられるのは、有料老人ホームの届出を行った施設に限られる。
- 2 入所者が特定施設入居者生活介護に代えて、外部の居宅サービスを利用する場合には、それを拒むことができない。
- 3 介護居室へ移して介護を行う場合には、利用者の意思の確認を行う必要はあるが、その手続について、あらかじめ契約書に明記しておく必要はない。
- 4 事業者は、自ら入浴が困難な利用者について、一週間に2回以上、適切な方法により入浴サービスを提供しまたは清拭しなければならない。
- 5 配置基準を上回る職員を一定数配置するなど、手厚い介護を行った場合には、利用者に別途費用を請求できる。

問題57 福祉用具について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 福祉用具の利用は、他のサービスとの関連を考慮して、居宅サービス計画に位置付けることが必要である。
- 2 介護支援専門員は、選定にあたって、福祉用具専門相談員等との連携を図ることが必要である。
- 3 福祉用具の中には、貸与または購入を利用者が自由に選択できるものがある。
- 4 福祉用具購入費の支給は、同一種目について同一年度に1回が原則である。
- 5 福祉用具貸与の種目のすべてを、要介護者とともに要支援者も利用できる。

問題58 住宅改修費について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 支給限度基準額は20万円である。
- 2 自立歩行がしやすいように床材を変更することは、支給対象となる。
- 3 車椅子での移動を容易にするため、扉を「開き戸」から「引き戸」に交換することは、支給対象となる。
- 4 手すりの取付けのために行う壁の下地補強は、支給対象とならない。
- 5 室内で車椅子を利用している者の場合、手すりの設置は、支給対象とならない。

問題59 脳梗塞のため左片麻痺となったAさんは、在宅生活継続のため、住宅改修を望んでいる。相談を受けた介護支援専門員の対応として適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 訪問時に、住環境の状況を把握した。
- 2 サービスを提供している訪問介護員や訪問看護師に、日常生活の様子を尋ねた。
- 3 Aさんは物につかまって歩くことができるが、いずれ車椅子での生活になると考え、廊下の手すりは勧めなかった。
- 4 Aさんの身体状況から、住宅改修の必要性は明らかなので、住宅改修の理由書の作成は必要ないと判断した。
- 5 住宅改修後にAさんの状況を再評価し、居宅サービス計画の見直しを行うことにした。

問題60 介護老人福祉施設について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 入所者が必要とする行政機関に対する手続について、本人または家族が行うことが困難な場合には、本人の同意を得て代行しなければならない。
- 2 サービスの提供により事故が発生した場合には、市町村に対しても速やかに連絡しなければならない。
- 3 入所者の理美容に要する費用は、施設介護サービス費に含まれる。
- 4 入所者が病院等に入院した場合には、入院期間にかかわらず、退院の際に再入所の便宜を図らなければならない。
- 5 入所者の入院等の事由により空床がある場合には、その空床を短期入所生活介護事業に利用できる。

解答

1. 介護支援分野

- 解答1 3・4 日本の社会保険制度
解答2 2・3・4 市町村の介護保険関連業務
解答3 1・3・4 保険財政
解答4 1・3・4 被保険者
解答5 4・5 介護保険と他制度の関係
解答6 1・4・5 居宅サービスの定義
解答7 1・3・5 利用者負担
解答8 2・4・5 介護報酬
解答9 1・5 支給限度基準額
解答10 4・5 居宅サービス
解答11 1・4 居宅サービス事業者の指定
解答12 1・2 居宅サービス事業者がサービスの提供を拒否できる場合
解答13 2・3・5 居宅サービス事業者の事業運営
解答14 3・4・5 介護保険施設
解答15 2・4・5 要介護認定
解答16 2・3 要介護認定
解答17 3・4 認定調査
解答18 1・3・5 要介護認定における市長村の役割
解答19 3・4・5 居宅介護支援
解答20 1・5 居宅サービス計画の作成
解答21 3・4・5 介護支援サービス
解答22 1・2・5 課題分析
解答23 1・3・4 要介護認定の申請
解答24 1・3・5 居宅サービス計画の作成
解答25 2・4・5 居宅介護支援

2. 保健医療サービス分野基礎

- 解答26 3・4・5 高齢者の身体的・精神的な特徴
解答27 1・2・4 高齢者によくみられる疾患
解答28 3・5 食事の介護
解答29 2・5 リハビリテーション
解答30 3・4 居宅療養管理指導
解答31 2・4 高齢者の疾患の特徴
解答32 1・3・5 感染症
解答33 1・4・5 在宅医療管理
解答34 2・3 健康増進・疾病障害の予防
解答35 1・3・5 在宅の認知症高齢者に関する助言
解答36 2・4・5 胃瘻
解答37 2・4・5 訪問看護（膀胱留置カテーテル）

- 解答38 2・4 通所リハビリテーション
解答39 2・3・4 介護老人保健施設
解答40 2・5 介護療養型医療施設

3. 保健医療サービス分野総合

- 解答41 2・3・5 バイタルサイン
解答42 3・4 加齢に伴う検査値の変化
解答43 2・3・5 呼吸器疾患
解答44 1・4 訪問看護
解答45 2・4・5 居宅療養管理指導

4. 福祉サービス分野

- 解答46 3・4 利用者の情報の取扱い
解答47 2・5 ソーシャルワーカーの活動
解答48 3・4・5 相談・面接技術
解答49 1・2・5 集団援助技術
解答50 2・3 地域福祉権利擁護事業
解答51 3・4 訪問介護
解答52 1・2・5 訪問介護
解答53 1・4 訪問入浴介護
解答54 4・5 短期入所生活介護
解答55 1・3・4 認知症対応型共同生活介護
解答56 2・4・5 特定施設入居者生活介護
解答57 1・2・4 福祉用具
解答58 1・2・3 住宅改修
解答59 1・2・5 住宅改修
解答60 1・2・5 介護老人福祉施設